

平成元年度現代宗教研究所事業計画案

1、教化研究会議

(1) 第二十二回中央教化研究会議開催

(イ) 期日 九月上旬 一泊二日

(ロ) 会場 池上本門寺・朗峰会館

(ハ) 管区教研運営委員参加

(ニ) 部会制で運営。教務部・現宗研スタッフにて内容

を協議し、現宗研顧問・嘱託・研究員を含む運

営会議を開き、企画・運営などの要綱を決定する。

(2) 教区教化研究会議の開催運営

(イ) 十教区にて開催運営

(ロ) 中央教研のテーマに基づき、各教区・管区で共

通して推進し得るテーマを企画し、日常教化上に

おける問題点を検討しつつ、統一目標に向かって

総弘通運動の推進と施策を図る。

(ハ) 管区運営委員にて、地域の独自性を加味し、企

画・準備・運営に取り組む。

2、研究部門

(イ) 日蓮教学の現代化に取り組む。中央教研の部会

制を中心に、継続して討議研究を進める。

(ロ) 教化学研究。教化学研究集会を年二回開催し、

教化の在り方、問題点を発表してもらい、現代教

化の方策をまとめる。

(ハ) 日蓮主義・教団論研究。法華経・日蓮聖人研究

セミナーを開催し、日蓮聖人の信行観・社会観・

教団論・教化論など、現代の諸問題と教学・教化

の研究を継続して進めていく。また、教団研究懇

談会をさらに進め、日蓮宗の組織機構・教師の資

質・布教化化など、教団のあるべき方向を研究模

索していく。

(ニ) 研究例会。今年度より新たに個人別課題を設け、

問題点の提起と研究発表する。

(ハ) 新宗教の研究。現代宗教研究セミナーを開催す

る。プロジェクトチームは、昨年度よりの新宗教についてのハンドブック作成のために、調査研究をつづける。

(v) お題目総弘通運動研究。プロジェクトチームは、昨年引き続き総弘通運動の再検討をし、更に他宗における宗門運動の検討をする。また、今後三年間の総弘通運動の取り組みについても、検討を加える。

3、調査部門

(イ) 寺院実態調査。プロジェクトチームでは、今年度より都市部・人口過密地域における未開教地区・無寺院地区の宗教事情と宗教活動について、調査・研究していく。

(ロ) 総合企画部の委嘱により、「昭和六十三年度宗勢調査」の報告書を作成する。

4、資料部門

(イ) 日蓮宗教化センターにおいて、地域の教化センターとの連絡を密にし、教化研究・布教資料など

の交換を図り、収集につとめる。

(ロ) 必要図書を購入し整理し、目録作成をめざす。合せて、書庫の整理を行なう。

(ハ) 各種教化資料を収集、保管する。

(ニ) 「現代宗教研究」第二十四号の発行。

(ホ) 昭和六十三年度、日蓮宗年次表の作成。

(ヘ) 教化資料シリーズの発行。

5、会議

顧問会議・嘱託会議・研究員会議の開催。